

千町棚田再興に向けての取り組み

千町棚田の位置・面積等



位置: 加茂川橋から高知方面に約8km
 面積: 約80ha 2300枚の棚田
 (平成30年現在 耕作面積8ha)

千町棚田の歴史



1585年豊臣軍の四国征伐時に伊藤近江守祐晴が開拓(合言葉:「地味肥え拓けば千町歩」)

環境保全活動の目的

- (1) 先人の知恵を学び、環境保全・国土保全について考える。
- (2) 農村の食文化の伝承を図り、「食」と「農」について考える。
- (3) 千町棚田再生から地域再興を行う。



現在の問題点



- (1) 地域住民の高齢化・過疎化(12世帯26名)
- (2) 耕作放棄地の増加(約70ha)
- (3) 知名度の低さ(棚田面積は日本一)

主な取り組み



ライトアップ
 石垣除草活動
 市民観光農園活動

「水と芸術文化発信」
 2019年1月3日愛媛新聞
 掲載番号d20200129-01



「水と芸術文化発信」
 西条市の活性化に取り組み、うちぬき21プロジェクトのメンバー

うちぬき21プロジェクト (西条市)

水と芸術文化をテーマに西条の活性化に取り組み、うちぬき21プロジェクトのメンバー



【メモ】2014年に法人化。現在は会員約8人と学芸団体の協賛企業が活動を支える。石形公開制作は毎年4月に丹原文化会館で実施し、5月上旬の西条アートフェスティバルで披露する。アクトピア水菜の酒樽では、18年に「みどりの愛蔵」功労者国土交通大臣表彰を受けた。

「水と芸術文化発信」
 西条市の活性化に取り組み、うちぬき21プロジェクトのメンバー

「水と芸術文化発信」
 西条市の活性化に取り組み、うちぬき21プロジェクトのメンバー



歴史遺産 千町棚田を守ろう

～農業体験・石垣保存をとおして、西条の水を守ろう～

千町棚田オーナー募集要項

- オーナー資格 正会員 5,000円（1人又は1家族単位で申し込み可）
- 特典 棚田米（有機農法（無農薬・天日干し）3k
無農薬の柚・梅1k・無農薬野菜（収穫体験者）
農業体験（田植え・稲刈り・石垣除草作業他）
賛助会員は2,000円（保全活動寄付のみ）

- 募集会員数 30組限定（2020年限定で柚のとり放題になります）
- 応募方法 申込書に記入され、FAXまたは、メールにて受付ます。

申込問い合わせ先 NPO法人うちぬき21プロジェクト（2000年設立）
棚田保存活動担当 成高 久豊（西条市福武甲2128-15）
TEL090-4504-2391 FAX(0897)53-8902 メール s35hnaru@yahoo.co.jp
西条市・京都大学地域資源計画論研究室も協賛しています。

令和2年千町棚田農業体験・保存活動年間計画（天候により変更する場合があります）

石垣保存活動	毎月第1日曜日	田植え体験	6月13・14日	稲刈り体験	10月10・11日
梅収穫体験	5月30・31日	柚収穫体験	11月21～23日	ライトアップ	令和3年3月

千町棚田オーナー申込書

氏名	住所
TEL・FAX	メール